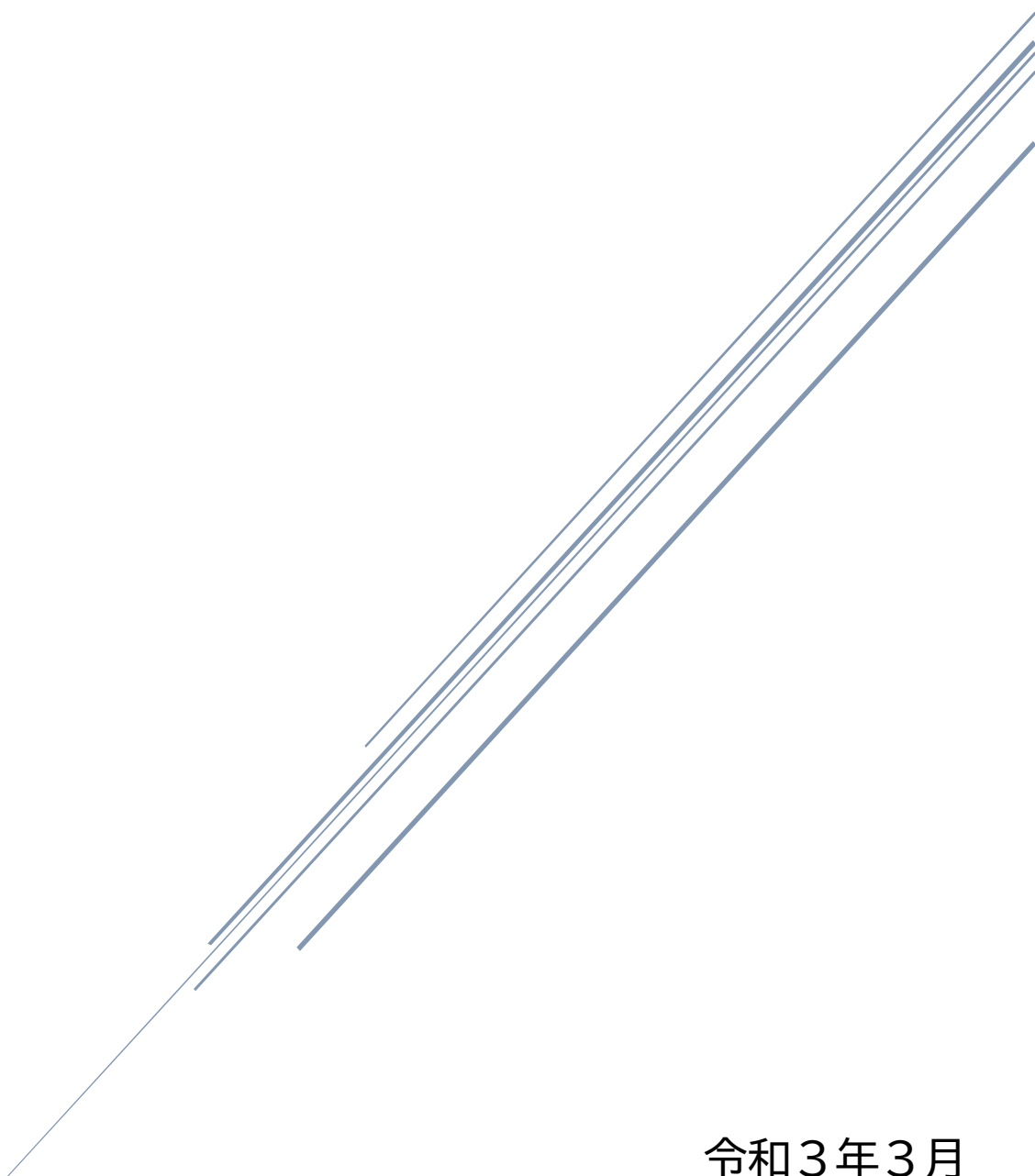


令和2年度 第3回

電話によるアンケート調査報告書



令和3年3月

目 次

1	調査の概要.....	1
(1)	調査の背景と目的.....	1
(2)	調査の設計.....	1
(3)	回答数.....	1
(4)	質問内容（自動音声）.....	1
2	回答者の属性.....	2
	年代の内訳.....	2
3	調査結果.....	2
(1)	体感治安の現状.....	2
(2)	犯罪被害の経験.....	3
(3)	治安が良いと回答した人の理由.....	4
(4)	治安が悪いと回答した人の理由.....	5

1 調査の概要

(1) 調査の背景と目的

本市では、犯罪発生件数の減少、犯罪抑止を図るため、様々な取組を推進する中、刑法犯罪認知件数は平成25年から5年間で約半数に減少している。

しかしながら、本市の転出理由の1位は「治安が良くない」となっており、治安対策を推進しても、市民が抱く「体感治安」と施策・事業の「効果」との間には、何らかのギャップが存在している。(治安対策と体感治安は別もの)

また、第1回電話アンケート調査での「日頃の困りごと・不便なこと」では、「駅前的美観」「ごみ、たばこのポイ捨て」「路上駐車」「夜道が暗い」など、日常生活、暮らしの中で「不快」を感じる意見が挙げられた。

今回の調査設計を行うに当たり、「『治安』には直接結びつかない、日常生活の中で感じる『不快感』の積み重ねが、『治安が悪い』という意識につながっているのではないか」という仮説を設定した。

【現状仮説】

市民が「治安が悪い」と思うのは、犯罪件数(指数治安)や、実際に犯罪等の被害に遭遇した実体験等に起因しているのではない。

むしろ、まちの美観、ネット情報など、普段の日常生活、暮らしの中で感じる『不快感』の積み重ねが起因しているのではないか。

市民の体感治安に影響を与えている要因を探り、今後の施策・事業の参考とする。

なお、調査手法については、具体的な意見や感想といった定性的な情報を収集するため、電話による調査とし、選択式(プッシュ式)及び発話式(自由意見)で行った。

(2) 調査の設計

調査対象	寝屋川市内に在住する市民
調査方法	IVR(自動音声応答)を利用した電話調査 ア アンケート及びフリーダイヤル番号の周知 イ 市民から受電し、自動音声により、発話による回答を取得
調査時期	令和2年12月20日～令和3年1月31日

(3) 回答数

回答数(受電数)	176件
有効回答数	157件

※有効回答数とは一問以上回答した人

(4) 質問内容(自動音声)

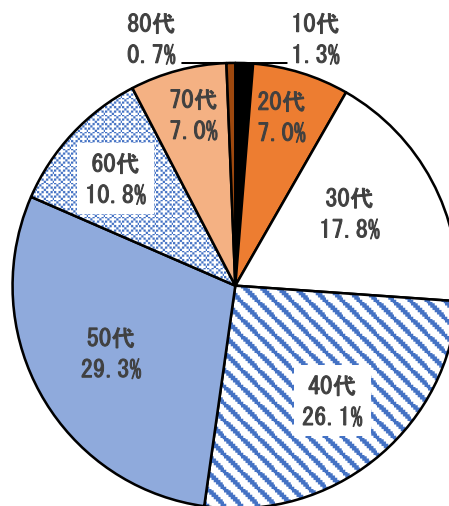
属性	年齢、郵便番号(市内居住地区の確認)
1	現在の市の治安をどのように感じていますか。
2	上記の理由をお話ください。
3	ここ5年で、御自身や身近な人が市内で犯罪被害に遭ったことがありますか。

2 回答者の属性

年代の内訳

年代別にみると、50歳代が29.3%で最も多く、次いで40歳代が26.1%の順になっている。

年齢	人数 (人)	構成比
10代	2	1.3%
20代	11	7.0%
30代	28	17.8%
40代	41	26.1%
50代	46	29.3%
60代	17	10.8%
70代	11	7.0%
80代	1	0.7%
合計	157	100%



(N=157)

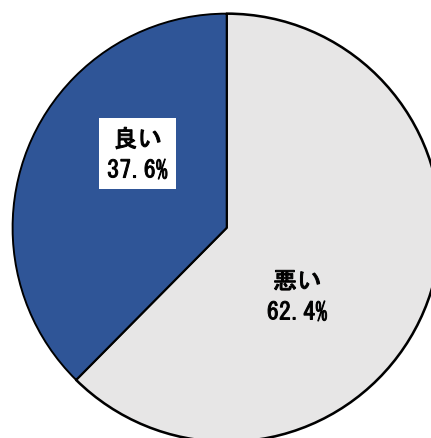
3 調査結果

(1) 体感治安の現状

市の現在の治安をどのように感じているかについて、回答は以下のとおりとなった。「悪いと感じる」と答えた人が62.4%と高くなっている。

【市の現在の治安をどのように感じていますか】

	人数 (人)	構成比
悪い	98	62.4%
良い	59	37.6%
計	157	100%



(N=157)

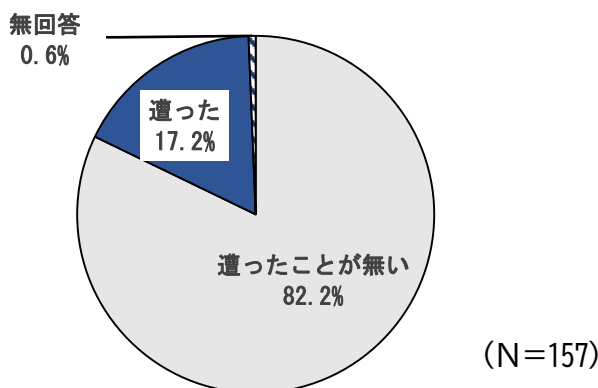
(2) 犯罪被害の経験

ここ5年で、御自身や身近な人が市内で犯罪被害に遭ったことがあるかについて、回答は以下のとおりとなった。

「遭っていない」と答えた人が82.2%と高くなっている。

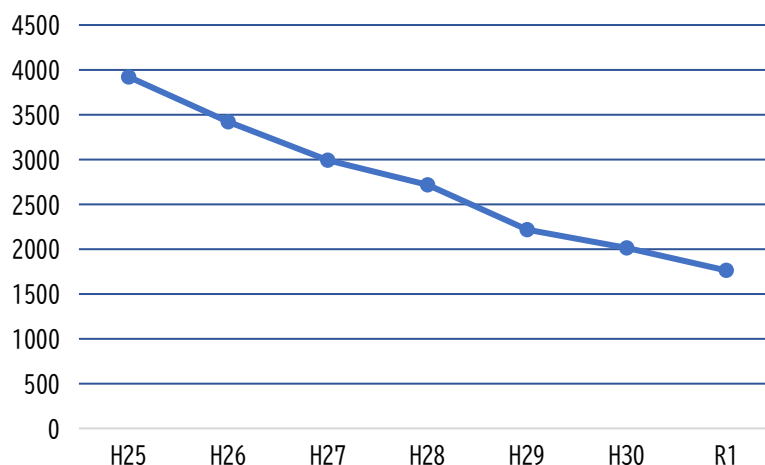
【ここ5年で御自身や身近な人が犯罪被害に遭ったことがありますか】

年齢	人数 (人)	構成比
遭ったことが無い	129	82.2%
遭った	27	17.2%
無回答	1	0.6%
合計	157	100%



参考：寝屋川市刑法犯罪認知件数

(大阪府警察ホームページ「刑法犯罪種別及び手口別発生市区町村別認知件数」)



【考察】

「参考：寝屋川市刑法犯罪認知件数」によると本市の刑法犯罪認知件数は年々減少している背景もあり、本市の調査結果においても82.2%の市民が「犯罪被害に遭ったことがない」という回答を踏まえると、市民の体感治安は犯罪の遭遇・被害と直結するものではなく、ほかの要因が影響していることが考えられる。

(3) 治安が良いと回答した人の理由

「寝屋川市は治安が良い」と回答した人の理由は、以下のとおりとなった。

「まちが整備されてきた」が9件と最も多く、次いで「防犯カメラが増えた」が7件の順になっている。

環境要因	社会的秩序	ルールを守る人が多いと感じる	3
		まちの美化が進んでいる	3
		路上でたむろしている人が少ない	2
		まちが静か	1
		計	9
	物理的秩序	まち(駅前、道路、区画整理)が整備されてきた	9
		防犯カメラが増えた	7
		街灯がLEDになり明るくなった	1
		計	17
	合計		26
危険な目に遭ったことがない		5	
犯罪件数が少ない		4	
日頃、治安が悪いと感じない		3	
自治会や警察の活躍		2	
子育て施策が進んでいる		1	
特になし/無回答		18	
総合計		59	

【考察】

体感治安にプラスに作用する要因として、道路整備、防犯カメラ設置など、目に見えて環境整備が進んでいることが分かる「物理的秩序」に関する意見が多い。

(4) 治安が悪いと回答した人の理由

「寝屋川市は治安が悪い」と回答した人の理由は、以下のとおりとなった。

「過去の事件の印象」が20件と最も多く、次いで「ポイ捨て等まちが不潔」14件の順になっている。

環境要因	社会的無秩序	ポイ捨て等まちが不潔	14
		路上でたむろしている人を見かける	8
		市民のマナーの悪さ	6
		暴走族による騒音	4
		路上での飲酒・喫煙	4
		近隣住民とのトラブル	1
		計	37
	物理的無秩序	街灯が少なくまちが暗い	5
		道路が整備されていない	3
		防犯カメラが不十分	1
		計	9
	合計		46
	イメージ	過去の事件の印象	20
		漠然としたイメージ	5
合計		25	
犯罪被害（遭遇・見聞）		8	
特になし/無回答/不明		19	
総合計		98	

【考察】

体感治安にマイナスに作用する要因として、過去の事件について、ネット上で目にすることや印象に残っていることから起因する「イメージ」や、たばこのポイ捨てなど、まちの美観に関する「社会的無秩序」に関する意見が多い。

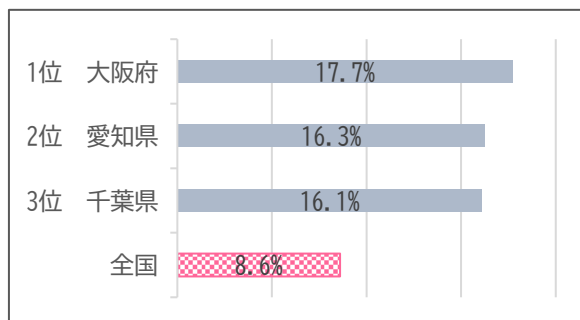
	治安が良い	治安が悪い
主な要因	物理的秩序 ・まちが整備された ・防犯カメラが増えた 等	社会的無秩序 ・ポイ捨て等まちが不潔 ・路上でたむろしている人を見かける 等 イメージ ・過去の事件の印象 等

※参考 警察庁ホームページ全国統一治安意識調査（平成27年度）

お住まいの地域の治安をどの程度だと感じるか

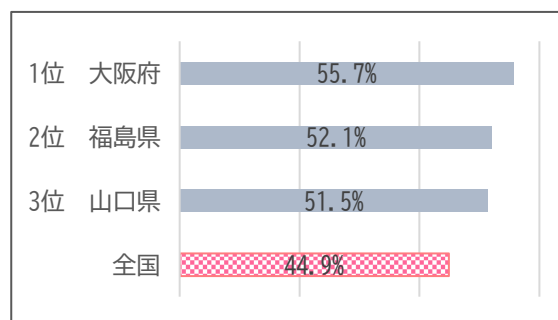
（悪い～よい、5段階）

治安が悪い（1段階、2段階）を選んだ人の割合



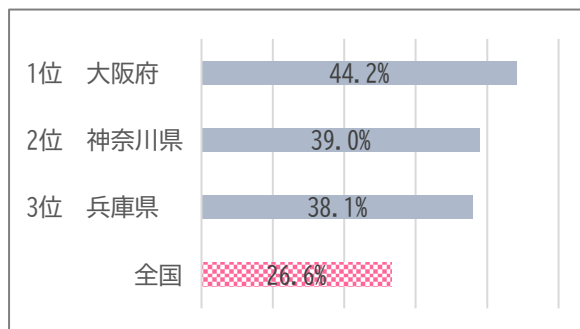
路上に捨てられたごみやたばこの吸い殻を

「（よく）見かける」と回答した人の割合



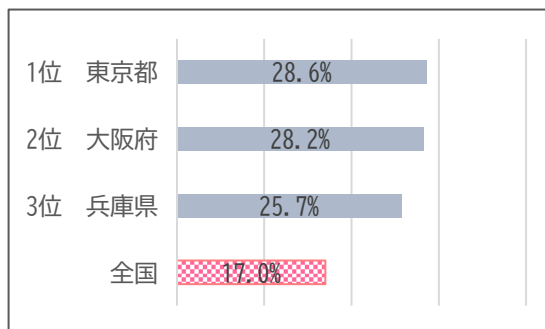
夜、たむろしている若者を「（よく）見かける」と

回答した人の割合



大声でさわいでいる人、けんか、路上での飲酒

を「（よく）見かける」と回答した人の割合



【考察】

「参考：警察庁ホームページ全国統一治安意識調査」によると、「治安が悪い」が最も高い大阪府については、「路上に捨てられたごみやたばこの吸い殻をよく見かける」「たむろしている若者をよく見かける」等も高くなっており、日常生活の中で目にする環境に関することが、体感治安に影響を及ぼしていることも考えられる。

本市の調査結果と同様、体感治安については、実際に犯罪に遭遇した実体験に起因しているものではなく、ポイ捨てなど日常生活で目にする社会的、物理的な環境や、過去の事件の印象からなるイメージを起因とする不快感、不安感が、体感治安につながっていることが考えられる。

体感治安の改善のために、犯罪抑止につながる様々な「治安対策」を推進することは、一定の効果が得られるものの、ダイレクトな効果は得にくく、むしろ治安対策とは別の取組（イメージアップ、美観形成など）を進めていくことも有効と考えられる。

**令和2年度 第3回電話によるアンケート調査
報告書(令和3年3月)**

寝屋川市 経営企画部 企画二課

〒572-8555 大阪府寝屋川市本町1番1号

TEL : 072-825-2019 FAX : 072-825-0761

URL : <http://www.city.neyagawa.osaka.jp>

E-mail : kikaku02@city.neyagawa.osaka.jp